

ライブストリーミングを楽しむ(49)
—大阪クラシック 2022—

1. 始めに

大阪クラシック 2022 の 9 月 8 日のプログラムのライブ無料配信を視聴しました。

2. ライブの試聴方法と使用機器環境

大阪クラシック 2022 のプログラムと配信環境は下記のサイトで参照できます。

<https://osaka-classic.jp/schedule/>

<https://osaka-classic.jp/video/>



今回の視聴プログラムは次のとおりです。

公演番号 23 14:30

【ヴァイオリン】石原優香 【ピアノ】糀谷伊織

エルガー/ヴァイオリン・ソナタ ホ短調 作品 82

公演番号 25 17:30

【クラリネット】田本摂理 【チェロ】松隈千代恵 【ピアノ】水垣直子

ニーノ・ロータ/クラリネット、チェロとピアノのための三重奏曲

受信はいつもの音楽用 PC と DMR-UBZ1 で、Sonica DAC 経由で再生します。

昨年と違って再生経路にダンパーフレークが適用されており、Brooklyn DAC+に仮想アースの Crystal E が、DA-3000 とスピーカーケーブルの途中に自作の仮想アースがセットされています。

なお、並行して無料のアーカイブ配信も視聴しており、これらは別途報告します。

3. ライブの試聴の試聴結果

上記 2 プログラムともホテルのチャペルでの演奏で、主に DMR-UBZ1 で聴いて行きます。

公演番号 23 のエルガーのヴァイオリン・ソナタは、初めて聴くものです。エルガーと言えば、チェロ協奏曲を思い出しますが、チェロ協奏曲と同じく、ヴァイオリンが奔放に歌います。ピアノはベーゼンドルファーであり、チャペルの響きもホールなみとは言えませんが、ベーゼンドルファーの響きも自然です。アンコール曲もエルガーの愛の挨拶でした。



公演番号 25 のニーノ・ロータ/クラリネット、チェロとピアノのための三重奏曲は、これも初めて聴くものです。

ニーノ・ロータの映画音楽のロミオとジュリエットの愛のテーマに引き続いて上記の曲が演奏されました。音質はやはりライブ感を十分に出していました。アンコール曲はニーノ・ロータの映画音楽の太陽が一杯のテーマでした。





以上、在阪のオーケストラのメンバーによる演奏でしたが、音質的にはダンパーフレークと仮想アースの効果が認められ、ライブの雰囲気が味わえました。

4. まとめ

大阪クラシック 2022 の 9 月 8 日のプログラムのライブ無料配信が視聴可能でした。

以上